

※ 海外ニュース ※

ドイツ 2019年10月16日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ Shell が通行料金徴収サービス開始を発表

Shell stellt neuen Service für Mautdienste vor

石油・天然ガス企業の Shell が、通行料金徴収サービスを始めることを 2019 年 10 月 9 日に発表した。同社のプレスリリースによれば、EETS (European Electronic Toll Service ; 欧州電子課金サービス) に関する EU 指令の改定に対応して、すべての加盟国で利用できるようになるには 2 年かかるという。これに向けて、Shell は EETS 事業者 3 社と提携し、サービスを提供する国を増やしていく予定である。無線ネットワークによるアップデートを用いて、同社の車載器は常に最新の状態に更新され、通行料はすべて Shell カードの請求としてまとめられる。

アメリカ 2019年10月16日 Bloomberg

■ ホワイトハウスが近くインフラに関する認可手続きを変更する見込み

White House Nears Infrastructure Permitting Changes

ホワイトハウスは、インフラプロジェクトにおける環境関連の認可手続きを変更する計画案を検討し始めた。この提案が最終的に決定された場合、道路、橋梁、パイプライン、送電線、インターネット回線、水道システムの国家環境政策法に基づく審査が迅速化する可能性がある。環境活動家たちは、この環境問題諮問委員会から提出された案によって、米国で最初の主要な環境法である『1970年国家環境政策法』が保護してきた事項が無効化されるのではと懸念している。

ドイツ 2019年10月17日 南ドイツ新聞オンライン版

■ 連邦議会、アウトバーンの速度制限に反対

Bundestag stimmt gegen Tempolimit

緑の党による、ドイツのアウトバーンすべてに速度制限を設定するという案は、連邦議会で却下された。本日举行された記名投票では、同案に反対する交通委員会に498名が賛同。緑の党の発議に賛成した議員は126名で、残り7名は棄権した。具体的には、発議は2020年1月1日までに、アウトバーンに対する130 km/hの速度制限導入を求めるといったものだった。最新のアンケート調査によると、国民の半数はアウトバーンの速度制限に賛成している。

中国（ケニア） 2019年10月17日 新華社通信

■ ケニアがナイロビの渋滞解消のため、中国から調達した資金で高速道路の建設を開始

Kenya launches construction of Chinese funded expressway to decongest Nairobi

このたび着工されたのは、26.8 kmにわたる、ケニア初の中央分離帯のある幹線道路である。ケニア国家高速道路局（KENHA）によるこのプロジェクトは、コンセッションネアであり出資企業でもある中国路橋工程有限責任公司による建設・運営・移管という方式（BOT）で行われる。この高速道路には、道路を利用するドライバーから通行料を徴収する料金所が10カ所設置されており、出資企業は資金を回収できるとKENHAは説明している。また、この道路プロジェクトの工費は5億9900万USドルで、工期は3年を予定しているとのこと。

アメリカ 2019年10月18日 FOX 11 NEWS

■ ウィスコンシン州交通省、州内のハイウェイ下部のインフラ点検に新技術を採用

Wisconsin DOT uses new technology to check out infrastructure underneath state highways

ウィスコンシン州交通省では、州内のハイウェイの下部にある雨水排水管と排水溝を検査するために、Bluetoothと無線の機能がついたGoProのカメラを用いたリモコンカーが使用されている。『排水溝検査車両』は6カ月の試験期間中だが、最終的には州全土に展開することを州交通省は期待している。

アメリカ 2019年10月21日 Citrus County Chronicle

■ ホールズ・リバー橋建設プロジェクトが完了間近

Halls River bridge project finally nears the end

橋桁の素材は、一般的には鉄とコンクリートだが、この橋はガラスとコンクリートの繊維強化ポリマーという

耐食性のハイブリッド複合素材できている。フロリダ州交通省によれば、ホールズ・リバー橋は、アメリカで初めてこの技術を用いた橋梁であるとのこと。

アメリカ 2019年10月22日 Times Union

■ ホワイトハウスの経済顧問、インフラプロジェクトは民間の資金調達先を探すべきと発言

White House says infrastructure projects should seek private funding

ホワイトハウス国家経済会議のラリー・クドロー委員長は、アメリカ最大級のインフラプロジェクトを計画中の州政府とビジネスリーダーに向けて、「われわれは諸君のために煩雑なお役所的手続きを省略しよう。しかし、われわれからの資金を期待してはならない」とのメッセージを発した。

同氏は、ドナルド・トランプ大統領は、鉄道、空港、その他のインフラプロジェクトを促進させるため、規制緩和と連邦政府の認可の迅速化に焦点を置いていると強調した。

アメリカ 2019年10月24日 Spectrum News

■ ニューヨーク州の有料道路公社が、キャッシュレス方式の道路の請求書送付に関してオンタリオ州と合意

Thruway Authority Reaches Deal With Ontario To Send Cashless Toll Bills

今までカナダのオンタリオ州のドライバーが、ニューヨーク州のキャッシュレス方式が導入されている有料道路の料金所を通過した場合、通行料を請求されなかったが、今後は請求されることになる。カナダ・オンタリオ州からニューヨーク州西部のバッファロー、ルイストン、ナイアガラの国境を越え、キャッシュレス方式が採用されている有料の南・北グランドアイランドブリッジを利用したカナダ国民も道路利用料を支払う責任があるとしながら、ニューヨーク州はこれまで請求書の送付先である住所を追跡するすべを持たなかった。今回の合意により10月25日から公社は、オンタリオ州の住民の住所に関する情報にアクセスできるようになった。ニューヨーク州は、2020年末までに全土でキャッシュレス化する予定。

ドイツ 2019年10月28日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ パイロットテスト：降雪前から道路の除雪作業を

Pilotversuch – Winterdienst auf Strassen schon vor dem Schneefall

ラインラント＝プファルツ州モビリティ局（LBM）は、雪が降る前から除雪に取り組むというパイロットテストで良好な実績を重ねている。州内のアウトバーンでは、6年前からスカンジナビア製の液体散布車が使われているという。この散布車によるテストは、ノイヴィート道路管理事務所の広域パイロットテストとして、ドイツでは唯一、連邦道路、州道、郡道でも行われている。広域テストは2015/2016年の冬に始まった。除雪車3台で純塩水を散布する。純塩水であれば基本的に従来の湿塩のように吹き飛ばされることはない。LBMがメディアに語ったところによると、午後から夜にこの手法を行うことで、霜凍結や軽度の路面凍結を防げるという。

ドイツ 2019年11月4日 Zeit オンライン版

■ 自動車サミット：電気自動車に対する購入奨励金を引き上げ

Autogipfel : Kaufprämie für Elektroautos soll erhöht werden

連邦政府は電気自動車購入の奨励金を引き上げ、2030年までに充電ステーションを大幅に増やす予定。産業界と政府が集まり連邦首相府で行われた会合で、奨励金を大きく増やすことが本日合意された。連邦政府の話では、これまでどおり費用の半額ずつを双方が負担するという。奨励金はまず2025年末まで延長される。

■ 有料道路によって今後カザフスタンの国庫に年間1,000万ドルを超す収入がもたらされる見込み

Toll roads will add more than \$10 million annually to Kazakh budget

バイブート・アタムクロフ産業・インフラ開発大臣は、「現在、わが国の有料道路の延長は計682 kmに達し、収入はそれらの道路の維持管理に役立っている」と述べた。カザフスタンで最初の有料道路は、2013年に供用開始したヌルスルタン～シュチンスク間の道路で、料金収入260万USドルはこの道路の維持管理費をまかなうことができている。

アタムクロフ大臣によれば、ドライバーや乗客に質の高いサービスを提供するために、1,822件ある沿道の施設のうち約1,000件が、国の基準に則って改修された。加えて73件の施設が国家予算と民間資本によって新設され、工事は2020年まで続く予定とのことである。また産業・インフラ開発省は、中小企業に対してインフラ工事の支援をするプログラムを採用した。